

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	株式会社名古屋東急ホテル
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	愛知県名古屋市中区栄四丁目6番8号
工場等の名称	株式会社名古屋東急ホテル
工場等の所在地	愛知県名古屋市中区栄四丁目6番8号
業種	宿泊業、飲食サービス業
業務部門における 建築物の主たる用途	ホテル・旅館
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	ホテル・旅館業
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

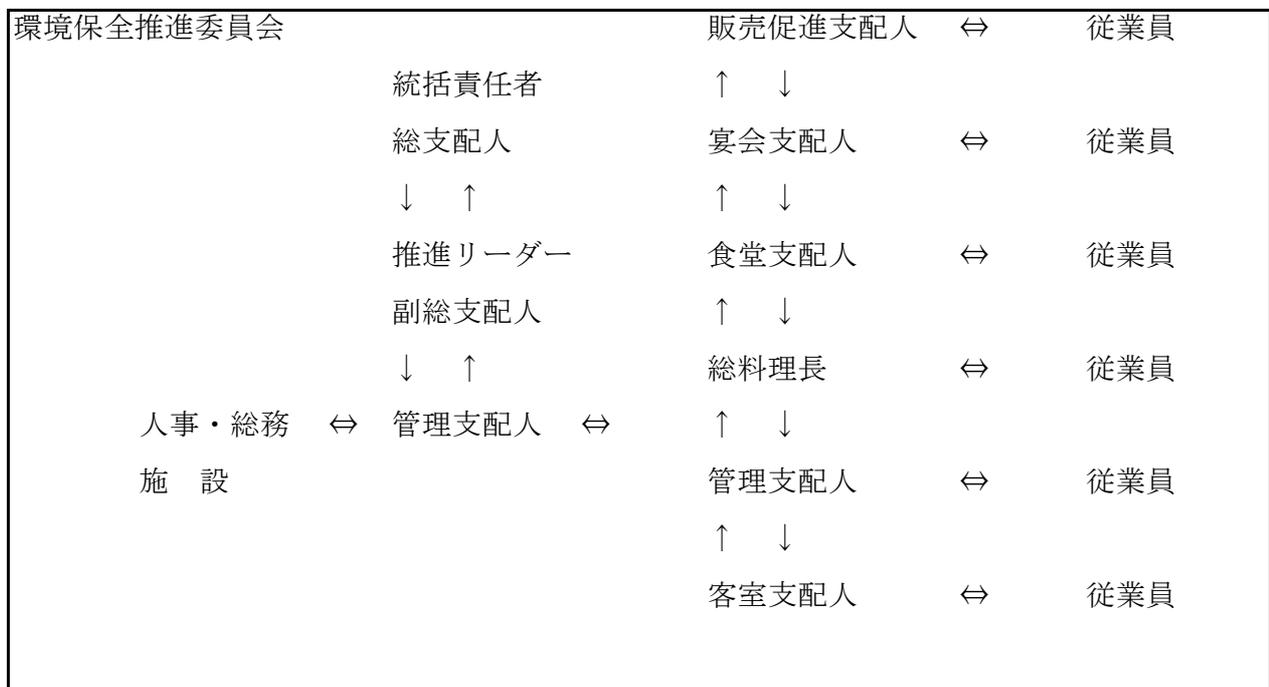
公表期間	令和5年7月3日 ~ 令和5年10月1日		
公表方法	○	揭示 閲覧	(場所) 名古屋東急ホテル 地下2階 中央監視室
		ホーム ページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-252-8640		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

- 1、ホテルの事業活動が環境に与える影響を認識し、継続的な改善に努めます。
- 2、環境に関する法令、規制、協定を遵守し自主基準、業務手順を整備し継続的な改善に努めます。
- 3、効率的な事業活動を推進し、省エネルギー、省資源を推進します。
- 4、分別回収の積極的推進を通じて、廃棄物の削減と再資源化に努めます。
- 5、未然防止に重点を置き、安全対策、衛生管理に継続的に取組みます。
- 6、省エネ・省資源に関する最新設備・技術の情報収集、導入検討を協議します。
- 7、毎月、部門毎のエネルギー使用状況を分析し、委員会で報告し、掲示板に開示します。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		5,112	t-CO ₂
（温室①を除外） 二室を除外 炭酸ガス 換算 排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふつ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふつ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		5,112

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度	t-CO ₂	令和 6 年度	t-CO ₂	令和 4 年度	t-CO ₂	令和 5 年度	t-CO ₂	令和 6 年度	t-CO ₂
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂								
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度	t-CO ₂ / m ³	令和 6 年度	t-CO ₂ / m ³	令和 4 年度	t-CO ₂ / m ³	令和 5 年度	t-CO ₂ / m ³	令和 6 年度	t-CO ₂ / m ³
原単位あたりの排出量	0.1117	t-CO ₂ / m ³	0.1083	t-CO ₂ / m ³	0.1217	t-CO ₂ / m ³		t-CO ₂ / m ³		t-CO ₂ / m ³
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 9.0	%		%		%
原単位あたりのみなし排出量						t-CO ₂ / m ³		t-CO ₂ / m ³		t-CO ₂ / m ³
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

新型コロナウイルスが落ち着き、稼働に伴いエネルギー消費も増となったが、自社で出来る範囲の省エネに努めた。

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理/エネルギー使用等の把握及び管理	<ul style="list-style-type: none"> 組織横断的な委員会を設置し、組織目標を設定 エネルギーの使用状況の把握、計測、分析、記録 使用実態の見える化(部門別) 	継続する	部門別にエネルギー使用状況を掲示。 1ヶ月に1回エネルギー委員会を開催し情報の共有をしている。
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房の温度設定、外気の取入量等、運転時間の徹底 全客室二重窓設置完了し空調負荷の軽減。 	継続する	宴会場、レストランの空調時間を開店1時間前から30分前に変更。
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限りVVLは省エネベルトへ交換する 自動販売機の不要な照明は消灯 デマンド抑制装置を導入し、最大需要電力の抑制 	継続する	出来るだけ、インバーター制御を行った。また、コロナの影響で、レストラン・宴会場の空調のスケジュールの見直しを行った。
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> 冷温水ポンプをインバーター制御 	継続する	出来るだけ、インバーター制御を行った。また、コロナの影響で、レストラン・宴会場の空調のスケジュールの見直しを行った。
省エネルギー・省資源の推進/昇降装置	<ul style="list-style-type: none"> 従業員EV2UP3DOWN運動の啓蒙 エスカレーターは宴会場の使用状況で運用 	継続する	空調負荷の高い時は、ターボ冷凍機より、蒸気吸収式冷凍機の運転時間を増やした。
省エネルギー・省資源の推進/OA機器	<ul style="list-style-type: none"> 退社時の消灯、PCや事務用品の主電源を切り待機電源の抑制を行う 	継続する	使用していない機器は、コンセントから抜く等心掛けた。またお客様のいない階は消灯し、電力使用を抑えた。
自動車利用における取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 急発進、急加速をせず、アイドリングストップの確実な実行エコドライブを推進 タイヤの空気圧など、こまめな点検・整備 	継続する	コピーをなるべく使用せず、業務連絡等は、全てメールで行うようにした。
水資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 1.2階客用トイレを更新 節水型トイレの採用 節水コマの設置 	継続する	コロナを鑑み、部署でリモート会議などの利用に努めた。
廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> 両面コピー、裏紙利用による使用量の削減 共有フォルダの利用、ペーパーレス会議 	継続する	毎月、従業員通用口の横の目立つ場所に掲示、エネルギーの使用状況の周知に努めた。

指針第 2 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 4 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 4 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--